

尊光寺報

第141号
令和6年3月

徳島県阿波市市場
町大野島字天神41
尊光寺

法要・行事のご案内

◎春の彼岸会永代経法

【3月20日(水・祝)】午後1時より法要・法話
【3月21日(木)】午後1時より法要・法話

※21日は仏教婦人会総会予定しています。会食を11時半より、準備お手伝いは9時頃よりお願い致します。

法話講師：四夷法顕師(西宮市信行寺住職)
ご講師の四夷師は副住職と
同年齢。本願寺の学問所である宗学院と一緒に学ばせて頂きました。現在は宗学院研究員の他、龍谷大学などで非常勤講師も務められる若手の先生です。なんと副住職と妻のきつかけを作った紹介者であります。



お彼岸とは、さどりの岸、阿弥陀さまの極楽浄土です。お念仏を申しつつ先立つた方々を偲び、この私も同じ彼岸へ参ることに思いを寄せましょう。どなたさまもお参りください。お待ちしております。

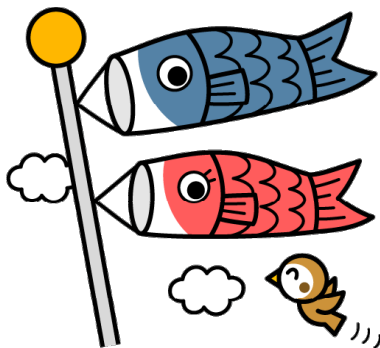
◎宗祖親鸞聖人降誕会ならびに門信徒総会

【5月1日(水)】午前10時より法要・法話、

引き続き門信徒総会ならびに会食
※会食準備のお手伝いをくださる方は9時頃よりお願いいたします。

法話：副住職

宗祖親鸞聖人のお誕生をお祝い
する法要です。親鸞聖人のおかげ
によって、この私まで南無阿弥陀仏
の教えが届いていることを、ご一緒
に喜ばせて頂きましょう。



◎ご本山参拝旅行のご案内

【日帰組】 5月26日(日)費用1万5千円
【泊組】 5月26、27日(日・月)費用4万円

※前号の案内に日付の誤りがありました。

午前6時半に市場町大俣を出発、土成、板野などを經由して京都へ。親鸞聖人の納骨所である大谷本廟参拝、お分骨の納骨と法要をいたします。昼食の後、ご本山西本願寺へ参拝いたします。お納骨やおかみそり法名拝受を希望の方は事前にお知らせください。夕食は淡路島の予定です。

【日帰組】は、本山参拝の後、源氏物語ゆかりの地へ訪問。石山寺または三室戸寺を参拝の予定です。

【泊組】は、本山参拝の後、岐阜県長良川で船から鶺鴒鑑賞、温泉旅館十八楼に宿泊、翌日は新しくなった名古屋城御殿を見学、ひつまぶし昼食の予定です。

どうぞお誘い合わせご予定ください。
お申し込みは尊光寺まで。



大谷本廟参拝・法要



本願寺の親鸞さま

◎徳島仏教婦人会連盟総会

ならびに門信徒研修会

【6月5日(水)】

会場：藍住町総合文化ホール

法話など内容は現在調整中

費用：バス代・昼食込みで二千円の予定

徳島県下の浄土真宗本願寺派仏教婦人会連盟の総会ならびに研修会です。仏教婦人会会員はもちろん、会員外もご

参加いただけます。勤行・法話などの内容は現在調整中です。5月上旬には詳細が決まりますので、ご参加いただける方は尊光寺までお申し込みください。

◎孟蘭盆会法要

【8月15日(木)】夕刻6時より本堂にて

お盆のお勤めです。お盆法要は歓喜会とも言います。地獄や餓鬼道に落ちるような行いをする私が、阿弥陀如来のお救いに出会い、浄土に生まれゆくことを、先だつた方々とともに喜ぶ法要であります。

初盆法要をご希望の方は日程を調整しますので、お寺までご連絡ください。浄土真宗では、御霊供膳や迎え火、施餓鬼棚を準備することはありません。

正信偈講座 35

(赤い経本一七七一)

顕示難行陸路苦 信楽易行水道楽
憶念弥陀仏本願 自然即時入必定
唯能常称如来号 応報大悲弘誓恩

【訓読】難行の陸路、苦しきことを顕示して、易行の水道、楽しきことを信楽せしむ。弥陀仏の本願を憶念すれば、自然に即時必定に入る。ただよくつねに如来の号を称して、大悲弘誓の恩を報ずべしといへり。

【現代語訳】龍樹(りゅうじゆ)菩薩は、難行道は苦しい陸路のようであると示し、易行道は楽しい船旅のようであると勧めになる。阿弥陀仏の本願を信じれば、おのずからただちに必ず仏に成るべき身である正定聚に入る。ただ常に阿弥陀仏の名号を称え、本願の大いなる慈悲の恩に報いるのがよいと述べられた。

前号の寺報は慶讃法要に紙面を割き、正信偈講座が休みになりましたが、また正信偈の話に戻ります。
インド・中国・日本において、阿弥陀如来のお救いを大切に
して伝えてくださった七人の高僧のうち、第一番目、インドの

龍樹菩薩の教えについてお話をしておりました。前回は、「顕示難行陸路苦 信楽易行水道楽」の部分でした。阿弥陀如来のお救いを信じお念仏を申しながら歩む仏道は仏さまのお慈悲の船に乗っているようなものであり、自らの力を頼りとして困難な修行に励む仏道は険しい陸路を歩むようなものであるとお話しました。

今回も龍樹菩薩の教えのお話が続く、「憶念弥陀仏本願 自然即時入必定」の箇所に入ります。

憶念とは、常に心に保つて忘れないことを言いますが、ここでは親鸞聖人は、阿弥陀仏のお救い（本願）におまかせする心持ち、信心のことをおっしゃっています。この救いにまかせるといのは、実はとても難しいことのように思えます。

私たちは日頃、自分を中心にして物事を考え、自分を頼りとして体を動かします。救いますよと言われたとしても、救われなくても自分は大丈夫だと思って生活しているのです。救ってくれますよという声自分が自分に届く時とは、自分ではどうにもならない問題に直面し、その状況を受け入れて初めて救いの声が届くように思います。



例えば健康診断で、少し生活習慣を見直した方がいいですよとお医者様の助言があつても、自分は大丈夫です、そのうち改善します、などの言葉でごまかし、お医者様の言葉をそれほど真に受けていない自分がいます。しかし、まさに自分が大きな怪我や病気になって手術をしなければならぬと言ったとき、自分ではどうしようもない現実に向面したとき、お医者様の言葉が大きな力を持って自分に入ってくるように思いますし、手術となれば、お医者様に自分の命をゆだねていくこととなります。

自分の力で何とかなるし、まだこの世で楽しくやって行くのだと思つている時には、阿弥陀さまの救いも、なかなか入ってこないし、救いの何が有り難いのかサツパリかもしれません。しか

しながら、自分の身近な方が亡くなった時、大きな病気になつた時、自分の命は必ず終わるときが来ると痛感させられた時、自分の無力さに気づかされます。しかしその命は死んでいく命がそのまま浄土に生まれゆく命であるよと、呼んでくださるのが阿弥陀如来でありました。おまかせをする心持ち（信心）とは、仏さまの話に出会い、自分の力の無力さを知らされることであり、阿弥陀如来のお救いに我が命をゆだねていく姿でありましょう。

息子の燈樹はまもなく一歳半を迎えます。今はスタコラと自分一人で歩くのがお気に入りです。危ないのでこつちに行こうと手を取ろうものなら怒り出すこともあります。シヨッピングモールでこつちだよと手を握るとその場に座り込みを決めてしまいました。自我の芽生えでしょうか。イヤイヤ期の始まりでしょうか。しかし歩き疲れると、ママを探してニコニコ笑いながら走つてきて抱っこされるやいなや安心したのかコテツと寝入つてしまいます。息子は、自分は疲れてこれ以上動けないことを知り、この疲れた自分を助けてくれるママという存在があることを知っているのです。阿弥陀如来のお救いを知ると言うこと、自力を捨てて身をゆだねている心持ちは、このような安心の姿でもあるのでしょうか。



一人で歩くのが好きな燈樹1才半
この後、転びます。

正信偈は続けて「自然即時入必定」とあります。本願にその身をゆだねた（憶念）その時に「必定」（仏に成ること）が定まった位）に入るとあります。その話は次回にいたしましょう。まもなくお彼岸です。一緒に仏さまの話をお聞かせして頂きましょう。

副住職担当、徳島新聞カルチャー教室の「案内」

各講座、受講生募集中です。

■ 仏教講座『正信偈（しようしんげ）』

「きみようむりようじゆによらい」。浄土真宗で一番よく親しまれてきた「正信念仏偈」をテキストに、インドから中国、日本へと伝わった仏教の教え、念仏とは何かを一緒に学んでまいりましょう。

● 毎月第3金曜日 10時半～12時 月額 3300円

■ 親鸞聖人と『歎異抄（たんにしよう）』

「悪人こそが救われる!」『歎異抄』には昔から多くの人々の心をひきつけてやまない言葉がまつています。人間らしい矛盾を抱えながら生き抜かれた親鸞聖人の言葉を丁寧に読み解きあじわってまいりましょう。

● 毎月第2月曜日 13時半～15時 月額 3300円

【教室・申込先】

徳島新聞カルチャーセンター徳島本校
徳島市寺島本町西1-5 アニコ東館7階
TEL 088-611-3355



令和6年 年忌表

令和6年の法事と亡くなった年

- 1周忌 令和 5(2023)年
 - 3回忌 令和 4(2022)年
 - 7回忌 平成30(2018)年
 - 13回忌 平成24(2012)年
 - 17回忌 平成20(2008)年
 - 25回忌 平成12(2000)年
 - 33回忌 平成 4(1992)年
 - 50回忌 昭和50(1975)年
 - 61回忌 昭和39(1964)年
 - 100回忌 大正14(1925)年
 - 150回忌 明治 8(1875)年
 - 200回忌 文政 8(1825)年
 - 250回忌 安永 4(1775)年
 - 300回忌 享保10(1725)年
- 過去帳やお位牌をご覧ください。

春の彼岸会永代経法要

3月20日（水曜・春分の日）
21日（木曜）

両日とも午後1時より お勤めと法話

※ 21日は、仏教婦人会総会を兼ねてお勤めします。会食は11時半より。
準備お手伝いくださる方は9時頃よりお願いいたします。

お彼岸とは、さどりの岸、阿弥陀さまの極楽浄土です。お念仏を申しつつ先立つた方々を偲び、この私も同じ彼岸へ参ることに思いを寄せましょう。どなたさまもお参りください。お待ちしております。

法話講師
四夷法顕師

（西宮市信行寺住職）

ご講師の四夷師は副住職と同年齢。本願寺の学問所である宗学院で一緒に学ばせて頂きました。現在は宗学院研究員の他、龍谷大学などで非常勤講師も務められる若手の先生です。なんと副住職と妻のきつかけを作った紹介者であります。



尊光寺
阿波市市場町大野島字天神四一

宗祖親鸞聖人降誕会法要

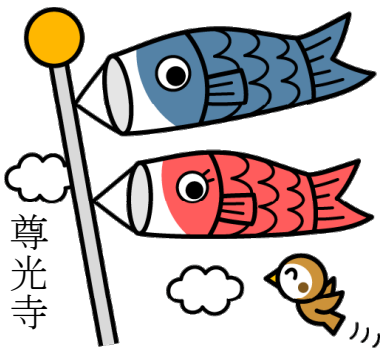
ならびに 門信徒総会

浄土真宗を開いた親鸞聖人のお誕生を祝う法要です。親鸞聖人のおかげによって南無阿弥陀仏のみ教えが私に届いていることを喜ばせていただきましょう。

5月1日、午前10時より

法要・法話、引き続き門信徒総会・会食

法話 副住職



尊光寺

—2024(令和6)年ご本山参拝旅行のご案内—

ご本山西本願寺への団体参拝です。どうぞ一緒にお参りいたしましょう。

【日帰り】と【1泊】の行程がありますので、どちらかお申し込み下さい。西本願寺の参拝と親鸞聖人の納骨所である大谷本廟参拝・納骨に加えて、【日帰り】は源氏物語ゆかりの地の観光を、【1泊】は岐阜県長良川鶺鴒い観光、名古屋城観光を予定しております。

大谷本廟に納骨・分骨を希望の方はお申し出下さい。

本願寺にて法名を頂く帰敬式(おかみそり)を希望の方はお申し出下さい。

■ 日程・費用 ■

【日帰り】 15000円 (バス・昼食・夕食)

2024年5月26日 6:30阿波市大俣出発——市場・八幡・土成・板野など各地——京都——10:00大谷本廟(法要・納骨・昼食)——13:00西本願寺(参拝)14:00——石山寺または三室戸寺——淡路ハイウェイアス(夕食)——帰路・大俣20:30頃

【1泊】 40000円 (バス・宿泊・食事)

2024年5月26日 6:30阿波市大俣出発——市場・八幡・土成・板野など各地——京都——10:00大谷本廟(法要・納骨・昼食)——13:00西本願寺(参拝)14:00——岐阜県長良川温泉——旅館(十八楼)——鶺鴒い鑑賞(夕食)

5月27日 8:15お宿出発——名古屋城御殿見学——昼食(ひつまぶし)——道の駅などでお買い物——淡路ハイウェイアス(夕食)——帰路・大俣20:00頃



京都西本願寺



大谷本廟参拝・法要

お申し込み/尊光寺 0883-36-3026